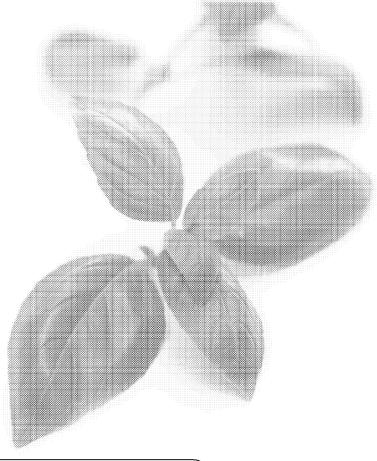
DAIKIN

ダイキンエアコン

取扱説明書

AN22LPS-W　AN40LPP-W
AN25LPS-W
AN28LPS-W
AN36LPS-W

こんな特長があります。

健康冷房運転	屋外と室内の温度差に気をくばり、体にやさしい冷房運転
快眠運転	室内温度をコントロールして快い眠りとさわやかな目覚めをサポートします
風ないス運転	直接風を感じにくい、やさしい涼しさ・暖かさをお届けします

上手に使って上手に節電

- このたびはダイキンルームエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。**ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。** お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- 保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめて、大切に保管してください。

ご愛用者アンケートにぜひご協力ください。
今後のよりよい商品開発のためWEB上でアンケートを実施しています。
https://www.cs.daikinaircon.com/

運転の前に

運転のしかた

便利な機能

お手入れ

必要なときに

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。
内容（表示·図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。	**注意**　「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。

「してはいけないこと」を表しています。	「しなければならないこと」を表しています。

火災や感電、大けがを防ぐためにお守りください。

電源プラグ

警告

※電源プラグの有る機種の場合

電源プラグやコードは

禁止

■運転中にプラグを抜かない。※
（感電や放電による火災の原因）

■電源コードを持って抜かない。※
（断線による、発熱や発火の原因）

■ぬれた手でプラグの抜き差しや操作はしない。※
（感電の原因）

■途中で接続したり、延長コードの使用、タコ足配線をしない。
（感電や発熱、火災の原因）

■破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない。
（感電や火災の原因）

必ず実施

■プラグは根元まで確実に差し込む。※
（接触不良による感電や火災の原因）

■定期的にプラグのホコリを乾いた布でふき取る。※
（湿気などで絶縁不良となり、発熱や発火、火災の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止する

必ず実施

異常·故障例
- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源プラグが変色している。
- ●こげ臭いニオイがする。
- ●ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- ●室内ユニットから水がもれる。

（異常のまま運転を続けると故障や感電、発煙、火災などの原因）
すぐに運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってお買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。（☞31ページ）

注意

室内ユニットは

禁止

■動植物に直接風をあてない。
（動植物に悪影響を及ぼす原因）

■精密機器や食品、美術品の保存、動植物の飼育や栽培などに使わない。
（品質低下などの原因）

■ユニットの下に、他の電気製品や家財などを置かない。
（水滴が落ちて、汚損や故障の原因）

必ず実施

■燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
（酸素不足による頭痛などの原因）

■燃焼器具は、風が直接あたらない場所で使用する。
（不完全燃焼の原因）

■乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない。
（誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因）

ST004

⚠警告

ご使用時は

■吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。
（けがの原因）

■長時間冷風を体に直接あてない、冷やし過ぎない。
おやすみのときなど、長時間、冷風を体に直接あてたり、冷やし過ぎたりしない。（体調を崩す原因）特にお子様や高齢者にはご注意ください。

■可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない。
（感電や引火の原因）

据付け・移設・修理時は

■エアコンの据付けや移動、修理、再設置は必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
●アースや漏電しゃ断器が設置されていること。
（感電や火災などの原因）

■必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。
（他の機器と併用すると、発熱による火災の原因）

■冷えない、暖まらない場合は、冷媒もれが原因の一つと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。
冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒もれがないことをサービスマンに確認してください。
（冷媒は安全で、通常はもれませんが、万一室内にもれ、ファンヒーターやコンロなどの火気に触れると、有害な生成物発生の原因となります）

■可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置されていないか確認する。
（万一ガスがもれると、発火の原因）

■ドレンホースが確実に排水するように配管されているか確認する。
（不確実な場合、家財などをぬらす原因）

漏電やけがを防ぎ、
家財などを守るために
お守りください。

⚠注意

お手入れ時は

■不安定な台に乗らない。
（転倒など、けがの原因）

■ユニットのアルミ部分に触らない。
（手を切る原因）

■お客様自身で、工具を使った分解掃除や、改造、内部の洗浄はしない。
（水もれや破損、故障、発煙、発火の原因）

■必ず運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る。
（ファンが高速回転しているため、けがの原因）

室外ユニットは

■ユニットのアルミ部分に触らない。
（手を切る原因）

■ユニットの近くに、他の電気製品や家財などを置かない。
（暖房時はドレンホースから結露水が出て、汚損や故障の原因）

■ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない。
（ベランダなどの高い場所に設置の場合、転落の原因）

■据付台が破損したまま、放置しない。
（落下につながり、けがなどの原因）

■ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉がたまらないようにする。
（虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因）

各部のなまえと働き

室内ユニット

光触媒空清フィルター（水色／黒色）

●エアフィルターの裏側に取り付けます。
（☞23ページ）

エアフィルター（黒色）
（☞21, 23ページ）

前面パネル

電源プラグ

吸込口

吹出口

機種名

電源コード

フラップ（上下風向調節羽根）
（☞12ページ）

運転／停止スイッチ
（☞5ページ）

ルーバー（左右風向調節羽根）
吹出口内にあります。
（☞13ページ）

室外ユニット

（イラストはAN40LPP）

本体操作部

受信部

- リモコンからの信号を受ける部分です。
- 信号を受けると、受信音と同時に運転ランプが点滅し、受信を確認できます。
  - 運転開始…ピッピッ♫
  - 設定変更…ピッ♪
  - 運転停止…ピー♩

室内温度センサー部

- 室内の温度を感知します。

運転／停止スイッチ

- 押すと運転を開始し、もう一度押すと停止します。
- 運転モードは「自動」、風量は「自動」に設定されます。 （☞10ページ）
- リモコンがみつからないときなどにご使用ください。

運転ランプ（緑）

タイマーランプ（橙）

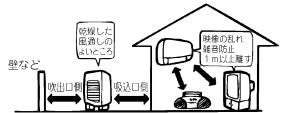
（☞14ページ）

内部クリーンランプ（緑）

（☞19ページ）

室内・室外ユニット周辺の確認

■下図の距離をあけないと、エアコンの能力が低下したり、テレビやラジオに雑音が入るおそれがあります。

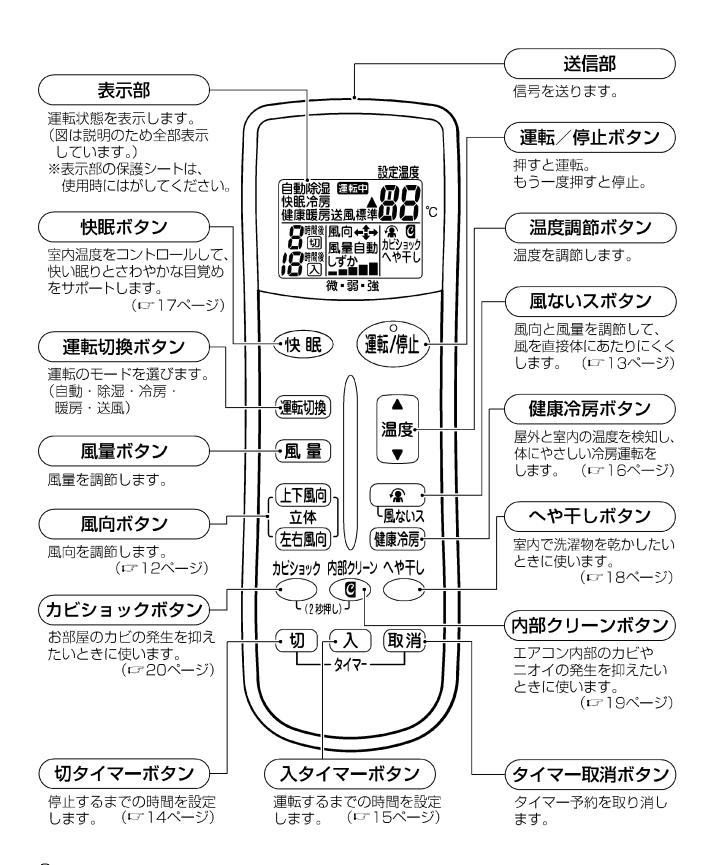
- 設置場所に余裕があれば、効率の良い運転のために、できるだけ広い寸法をお取りください。

■火災警報器と室内ユニットの吹出口は1.5m 以上の距離をあけてください。

■調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所でのご使用は避けてください。

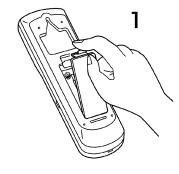
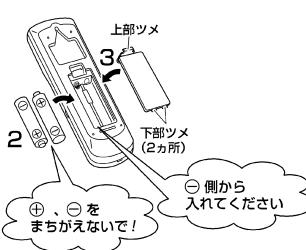
■床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。（エアコン内部にワックスの成分が付着し、水もれの原因となります。）ワックス塗布後は十分換気を行ってから運転してください。

■積雪や植木鉢などで、吸込口や吹出口をふさがないでください。

各部のなまえと働き

リモコン

運転前の準備

リモコン

■電池を入れる

1 上部のツメを下へ引き、
ふたを開ける。

2 単4形アルカリ乾電池を
2本入れる。

3 ふたの下部のツメ2ヵ所を
差し込んで、ふたを閉じる。

運転の前に

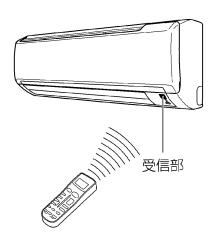
電池について

- 電池を廃棄するときは、端子をテープなどで巻き付けて絶縁してください。
  他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池は、お近くの電器店、時計店、カメラ店などにある電池回収箱に入れてください。
- 交換のめやすは約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
- 電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
- 液もれや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合は電池を取り出してください。
- 付属の電池は、最初にお使いいただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。
- 単４形アルカリ乾電池以外をご使用になると正常に動作しない場合があります。

運転前の準備

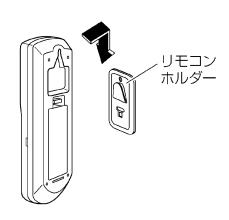
リモコン

■使いかた

- 送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
- 送信できる距離は約７m です。

■壁などに取り付ける場合

1 信号が受信される場所を選ぶ。

2 リモコンホルダーを付属のネジで、壁・柱などに取り付ける。

3 リモコンの背面の穴をリモコンホルダーの凸部に引っかける。

リモコンについて

- 落としたり、中に水が入らないようにしてください。（液晶部が破損することがあります。）
- 電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）や、液晶テレビ、プラズマテレビがあるお部屋では信号を受け付けにくい場合があります。このようなときには、販売店にご相談ください。
- リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

室内ユニット

■光触媒空清フィルターを取り付ける(☞ 23 ページ)

■電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、フラップ(上下風向調節羽根)が一度開き、また閉じます。(故障ではありません。)

運転の前に

お知らせ

上手な使いかたについて

- 適度な室内温度設定は節電につながります。

<おすすめ設定温度>
冷房時…26℃～ 28℃
暖房時…20℃～ 22℃

- 窓にはブラインドやカーテンを使用すると、直射日光やすきま風を防ぎ、冷房・暖房効果を高めます。
- エアフィルターの目づまりは、冷房・暖房効果を低下させ、電気のむだ使いとなります。
  2週間に一度のめやすでお掃除することをおすすめします。

知っておいてください

- エアコンは運転しないときでも、電力を消費します。(☞ 32 ページ)
- シーズンオフなど、長期間使用しないときは電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。
- シーズン中は電源プラグをコンセントに差し込んでおくと、暖房運転時、温風が出るまでの時間が短縮されます。

運転条件

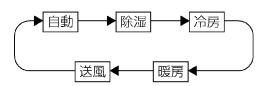
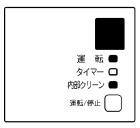
- 下表の条件以外で運転を続けると、安全装置が働き、運転が停止する場合があります。また、除湿・冷房運転の場合は室内ユニットに露が付き、滴下する場合があります。

除湿	屋外温度 18℃～ 35℃ 室内温度 18℃～ 30℃ 室内湿度 80%以下
冷房	屋外温度 21℃～ 43℃ 室内温度 21℃～ 32℃ 室内湿度 80%以下
暖房	屋外温度－10℃～ 24℃ 室内温度 27℃以下

運転のしかた

自分に合ったお好みの運転を選べます。

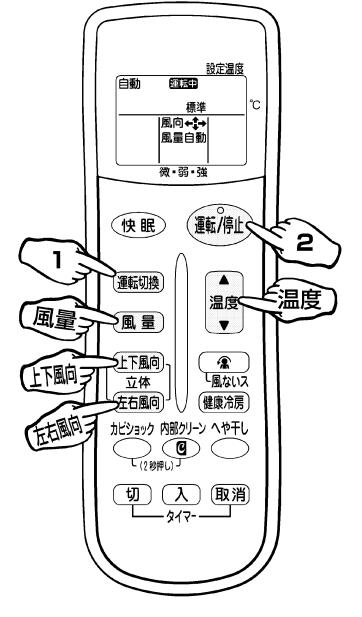
1 （運転切換）を押し運転モードを選ぶ。

● 押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。

2 （運転/停止）を押す。

本体の運転ランプが点灯します。
内部クリーンが設定されているときは、本体の内部クリーンランプも点灯します。
(☞19ページ)

■停止したいとき

をもう一度押す。

● **本体の運転ランプが消灯します。**
停止中は自動内部クリーン設定中でも本体の内部クリーンランプは消灯します。

● 次回（運転/停止）を押すと前回と同じ内容で運転します。
（リモコンの電池を交換するまで、前回運転内容は消えません。）

自動運転について

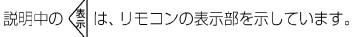
● 自動運転は、運転開始時の室内・屋外温度に応じて、自動で設定温度と運転モード（除湿、冷房、暖房のいずれか）を選びます。

● 設定温度と運転モードはその後定期的に見直します。

暖房運転について

● 屋外温度が下がり、暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。

● 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなとき、霜取り運転のため、暖房運転が停止し、フラップが水平になり風も止まります。この霜取り運転（3～10分間）が終わると再び暖房運転を開始します。霜取りにより溶け出した水が室外ユニットの下に流れ出したり、湯気が白い煙のように見えることがありますが、異常ではありません。

■温度・風量を変えたいとき

運転モード / 変更したい設定	自　動	除　湿	冷　房	暖　房	送　風
▲ 温度 ▼	「標準 －5℃」 ～ 標準 ～ 「標準 ＋5℃」	「標準 －3℃」 ～ 標準(※ 1) ～ 「標準 ＋1℃」	18℃～32℃ <おすすめ温度> 26℃～28℃	14℃～30℃ <おすすめ温度> 20℃～22℃	温度は変えられません。
風 量	自動・しずか	自動	風量 微・弱・強 表示 自動・しずか 微から強まで (5段階)		

- 「しずか」「微」など少ない風量では、十分冷えない・暖まらないことがあります。
- (※ 1)標準…除湿運転開始時の室内温度

■風向を変えたいとき(☞ 12 ページ)

除湿運転について

- 除湿運転時に、補助的に空気を暖めることで室内温度の低下を抑えながら湿気を取り除きます。(室内温度 18℃以上で、屋外温度 18℃以上の場合)
- 冷房運転から、除湿運転に変更した場合、一時的に湿度が上がることがあります。
- 室内温度 18℃未満では、暖房運転にて室内温度を上昇させる場合があります。
- 屋外温度 18℃未満では、冷房と暖房を適切に制御して除湿運転を行います。
- お部屋の条件、在室人数、屋外温度によっては、室内温度が下がる場合があります。

お知らせ

- 風量設定が「自動」のとき、除湿・冷房(自動で選択された場合を含む)運転を開始すると、室内ユニットにこもったイヤなニオイが出るのを抑える機能が働くため、すぐに風が出ません。30秒お待ちください。

風向調節・風ないス運転

上手な風向調節でより快適な風を。

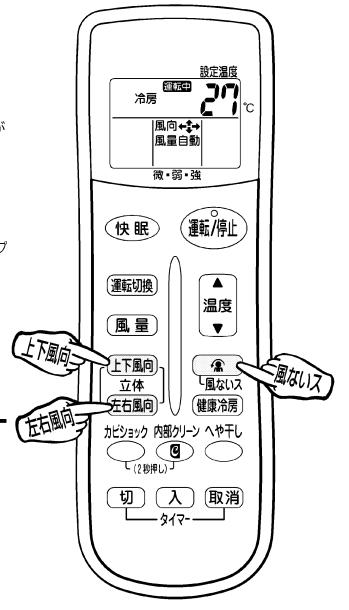
上下の風向を変える

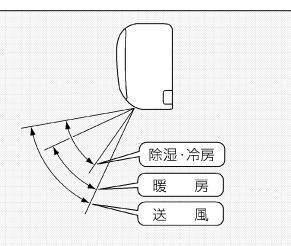
運転中に (上下風向) を押す。

風向 ↕ 表示 …… フラップ(上下風向調節羽根)が自動で上下に動きます。

表示 …… (上下風向)を押した位置でフラップが止まります。

お知らせ

- 上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるために、暖房運転時はフラップを下向きに、除湿・冷房運転時は水平に近い状態でご使用ください。
- 除湿・冷房運転時に下吹きでフラップを停止したまま運転されますと、露が付くのを防ぐために、1 時間後に自動的にフラップの角度が変わります。

風向調節について

- フラップが自動で上下に動いているとき、その動く範囲は運転モードに応じて異なります。風向の設定可能範囲はおおよそ右図のような角度の範囲です。
- フラップが自動で上下に動いているとき運転音が変化する場合があります。
- 室内温度が設定温度に到達し、室外ユニットが停止している間は、フラップとルーバーは停止します。

左右の風向を変える

運転中に 左右風向 を押す。

ルーバー(左右風向調節羽根)が自動で左右に動きます。

左右風向 を押した位置でルーバーが止まります。

風ないス運転

風向と風量を調節して、風を直接体にあたりにくくします。

● 送風運転以外のときに設定できます。

運転中に [風ないスボタン] を押す。

■フラップの向き
- ●除湿・冷房…上向き
- ●暖房…………下向き

■風量は自動になります。

■取り消したいとき

[風ないスボタン] をもう一度押す。

立体気流にする

運転中に 上下風向 を押し 左右風向 を押す。

フラップとルーバーが交互に動きます。

■取り消したいとき

上下風向 または 左右風向 を押す。

運転のしかた

立体気流について

● 立体気流にすると、下にたまりがちな冷たい空気、また天井付近にこもりがちな暖かい空気を上下、左右に循環させ、お部屋の温度ムラを少なくします。

お願い

風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。

風ないスについて

送風運転以外で使えます。

■フラップの向きと運転モード

タイマー運転

タイマーは１回だけの運転ですので
その都度設定してください。

おやすみ前やお目覚めの時間に合わせてご使用になると便利です。
切タイマーと入タイマーを組み合わせて使うこともできます。

切タイマー運転

タイマー 切 を押す。

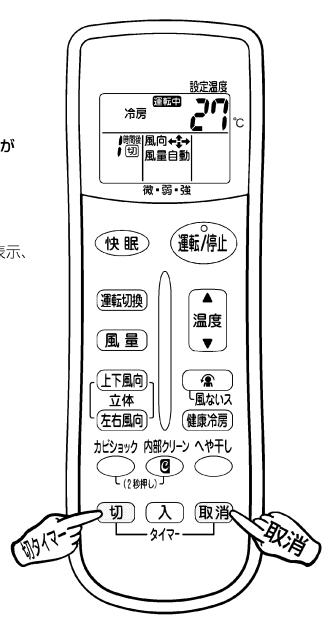
本体のタイマーランプが
点灯します。

……押すごとに１時間きざみで表示、
９時間まで設定できます。

■予約を取り消したいとき

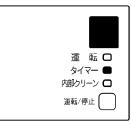
取消 を押す。

本体のタイマーランプが消灯します。

……表示が消えます。

タイマー運転について

- 切タイマー運転を開始すると、１時間後に設定温度を自動的に変え（冷房時：0.5℃上がる、暖房時：２℃下がる）冷やし過ぎ、暖め過ぎを防いで快適な睡眠を守ります。
- 切タイマーを予約した場合、設定した時間よりもタイマーの切れる時間がずれることがあります。
- 入タイマーを予約すると、その時間にリモコンの設定温度になるように最長１時間前から運転を始めます。
- 一度入タイマーを予約すると、予約された時間は次回も記憶されています。
ただし、切タイマーは記憶されません。
（リモコンの電池を交換すると、記憶内容は消えます。）
- 快眠運転との併用はできません。

入タイマー運転

タイマー 入 を押す。

本体のタイマーランプが点灯します。

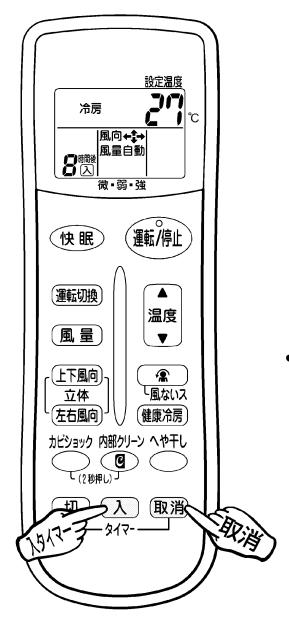
押すごとに1時間きざみで表示、12時間まで設定できます。

■予約を取り消したいとき

取消 を押す。

本体のタイマーランプが消灯します。

表示が消えます。

便利な機能

組合せ予約について

- 切タイマーと入タイマーを組み合わせて予約する場合、下記例を参考に行ってください。

(例)
運転中のエアコンを引き続き1時間運転。それから7時間停止させた後、運転を再開させたいとき。

お願い

■次のような場合には、タイマーの再設定をしてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- 停電したとき
- ブレーカーが作動したとき
- リモコンの電池を交換したとき

健康冷房運転

屋外と室内の温度差を検知し、体にやさしい冷房運転をします。

冷房運転中にお使いください。

(健康冷房) を押す。

……… 健康冷房運転を行います。

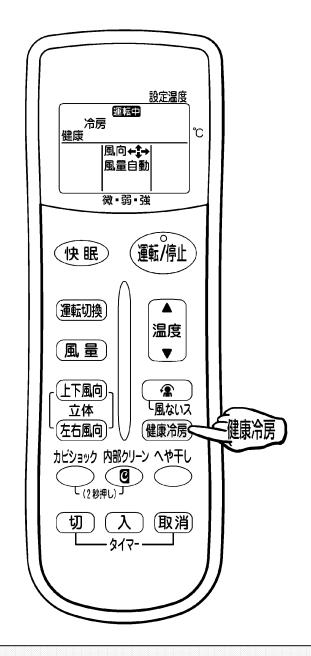
- 温度の変更はできません。
- 風量は「自動」となります。

■風向を変えたいとき(☞ 12 ページ)

■取り消したいとき

(健康冷房) をもう一度押す。

冷房運転にもどります。

冷房 表示 ……… 表示が消えます。

(健康冷房運転について)

- 室内と屋外を出入りするときに、温度差が大きいと体調悪化の原因となることがあります。これを防ぐため、屋外温度と室内温度の差が、体にやさしい温度差となるよう、エアコンが設定温度を自動で決めます。
- 屋外温度が高いときは設定温度も高くなりますので、あつく感じる場合があります。
- お好みに合わないときは、運転モードを変えてください。(☞ 10 ページ)